

月刊 **さわやか**

第121号
平成29年5月15日

《発行》
公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
TEL 042-1581-8171

第68回定時総会で報告する

平成29年度事業計画の紹介

平成29年度事業計画は、6月20日開催の第68回定時総会議案書に全文掲載されます。ここでは骨子のみを紹介します。

【事業計画の骨子】

I 平成28年度の状況

平成28年度は対外広報の充実、新総合事業、派遣事業の開始等で今後の事業展開に弾みがついた。29年度は、①就業機会の拡大②会員の増強③地域活動の充実④の三本柱を重点項目とする。

II 基本方針

1 基本理念の一層の理解と浸透に努め、組織の発展と強化を図る。

2 高齢者に適した就業機会を拡大し、社会参加を促進する。

3 対外広報を積極的に展開し、事業の認知度向上および会員の増強を図る。

4 地域活動、会員相互の交流を促進し、地域活動を充実する。
5 就業および組織活動における安全管理を強化する。

III 事業実施計画

1 就業機会の拡大と提供

(1) 既存事業の拡大……公共事業の就業拡大、市内事業所・一般家庭での就業開拓等

(2) 新規事業開拓への取組み

ア 多機能サロンの事業化研究
イ 買い物代行の事業化研究
ウ 会員所有の資格・技能・技術を活用した新規事業
エ 介護施設・保育施設・スーパーマーケットへの人材派遣

(3) 女性会員の就業機会の拡大

ア 家事援助事業の拡大
イ 新総合事業の拡大
ウ 手芸品製作販売事業の育成

会員数

平成29年3月31日
計 1,591名
男性 1,151名
女性 440名
3月入会者4名
(男2名、女2名)
3月退会者93名
(男64名、女29名)

エ 上記(2)新規事業開拓
オ 事務系仕事の開拓
(4) 適正就業、人材派遣事業の推進

2 会員の増強

(5) 会員増強対策

ア 入会会員を増やす対策
イ 退会会員を減らす対策
ウ センターの魅力をアップする対策(会員交流)

(6) 対外広報の強化

ア 会員募集チラシ全戸配布



手芸品の製作・販売事業

イ 女性限定入会案内説明会
ウ イベント開催・出展
エ 市民対象の講習会の開催
オ ホームページの改良
カ 広報ひのくに広告掲載
キ 会員お誘い運動の展開
(7) 会員の交流促進
ア 女性会員交流会
イ 就業会員交流会
ウ 一般的な会員交流会
(8) 共助的組織の研究……互助会、共助会等 (3面に続く)

シルバーいきいき祭り & リサイクルフェア

5月27日(土)10:00~14:00

リサイクル事務所で開催
(ふれあい橋北側、☎042-581-5960)

会員の皆様、ご家族の皆様、
こぞってお越しく下さい!

「今回6ページ建て」

2面 II 平成28年度事業実績

3面 II 多摩川・浅川クリーン作戦

4面 II 新年度地域班長体制

平成28年度事業実績 (累計)

契約金額累計3・4%増

平成28年度当センターの事業実績は、契約金額累計6億5784万円、前年度比3・4%増でした。特徴として、上半期5・9%だった伸び率が、下半期に入って各月マイナスに悪化。しかし1〜2月はプラスに転じ、全体としてプラスに踏みとどまりました。

派遣事業は累計49件、9カ月間で448万円

このうち派遣事業は、年度末までの9カ月間で累計49件、9事業所・累計78名、448万円に達しました。主な業種は保育補助、惣菜作り、訪問介護、入浴介護等で、ほとんど女性の職場です。

会員状況の特徴

年度末の会員数は1591名でした(1面参照)。これは27年度末の1535名より56名増。23年度以降の減少傾向は26年度(1521名)で底を打ち、上昇に転じたことを示しています。

シルバーいきいき祭りとリサイクルフェアが迫りました (5月27日)

当センターの第2回シルバーいきいき祭り(5月27日午前10時から午後2時まで、会場はリサイクル事務所)の開催がいよいよ近づいてきました。

このお祭りは、会員同士の交流はもちろん、来場される一般市民の皆さんとも楽しく交流し、かつシルバー人材センターをより広く知ってもらうことを目的にしています。

食べ物、飲み物など多数の模擬



第1回いきいき祭りのスタンド(H28.5.21)

第68回定時総会

日時：平成29年6月20日(火)13:00～
場所：七生公会堂

(1)日野署「交通安全講習」13:00～13:45
(2)定時総会
28年度事業報告・収支計算書の報告
決議事項：貸借対照表及び正味財産増減計算書
報告事項：29年度事業計画・予算

就業開拓員の異動

(敬称略)

- 退職 須崎 彰 (3月31日)
- 採用 中島洋親 ひろちか (4月1日)

店のほか、ゲーム遊具なども充実。同時開催のリサイクルフェアも、毎年好評のリサイクル自転車抽選販売のほか、家電などお得な商品もいっぱい。さらに、新たに設ける「会員作品展」コーナーでは写真、手工芸品などの秀作、力作が間近で見られるなど楽しい趣向がたくさん用意されています。年に一度のシルバーいきいき祭りにぜひ参加して、みんなでにぎやかに盛り上がりましょう。

理事会二ニュース

★第1回理事会 4月24日

- ・審議事項 ①正会員の入会(27名承認、5月1日入会)、②任期満了に伴う理事及び監事選任、③職員給与規程の一部改正
- ・報告事項 ①平成28年度における代表理事及び業務執行理事の職務執行状況、②平成28年度事業実績(累計) ③契約金額累計6億5784万円(前年度比3・4%増)、④平成28年度予算執行状況、④各委員会の活動状況(5面参照)

「センター行事日程」

- 5月27日(土) シルバーいきいき祭り&リサイクルフェア
- 6月2日(金) 平成29年度第1回地域班長会議 生活・保健センター

配分金の支払日

- 5月19日(金)
- 6月20日(火)
- 7月20日(水)
- 8月18日(金)
- 9月20日(水)
- 10月20日(金)
- 11月20日(月)
- 12月20日(水)

第26回 多摩川・浅川クリーン作戦

当センター参加者は512名

恒例の多摩川・浅川クリーン作戦が4月23日(日)、日野市環境共生部・緑と清流課の主導下で実施されました。

前夜の雨がすっかり上がり、ウグイスの声も聞こえる晴天の下、当センターをはじめ自治会、老人会ほか諸団体が集合。当センターの参加者は512名でした。

とくに、今年度の作戦本部が置かれたCブロックでは、担当の日野1・日野2・日野本町3班の参加者は46名でした。これは合計会員数69名の66・7%です。

本部長の市環境共生部小笠部長は挨拶で、クリーン作戦は今年で26年目を迎えました。川岸を清掃することで身近な河川を好きになり、環境保全に関心を

最近の参加状況

平成	参加人数
21年	448名
22	389
23	484
24	521
25	中止
26	507
27	515
28	494
29	512



挨拶する小笠部長



Cブロックに集まった参加者

持って頂けるよう期待しています」とのべました。
国土交通省からも2名の方が視察にいらしていました。



説明しま〜す、注目！(Gブロックで)



Eブロックに集まった西平山1班の皆さん

(1面からの続き)

事業計画の骨子(続き)

3 地域活動の充実

(9) 市内美化運動

ア 多摩川・浅川クリーン作戦

イ 全地域班一斉清掃

ウ 公園・駅周辺・道路清掃

(10) 社会奉仕活動の多様化

ア 小学校防犯パトロール

イ 市立小中学校あいさつ運動

ウ 東京マラソン会場ボランティア

エ 高齢者見守り支援 気にか

け運動

オ 市内他団体との交流

(11) 地域班の活性化

4 安全就業

(12) 事故発生件数を減らすための取組み

ア 職場の安全巡回の実施

イ 安全講習会、作業機械等取扱

ウ 安全就業基準自己チェックの実施

(13) 交通安全対策

(14) 安全意識の醸成

5 その他の施策

(15) 会報紙(誌)の発行

(16) 第6次中期計画の策定

新年度地域班長体制

(平成29年4月1日現在)

地域班名	氏名	地域班名	氏名	地域班名	氏名
日野1	渡辺 清司	多摩平1	今井 信一	鹿島・南平	石原 稔朗
日野2	池内 直彦	多摩平2	藤峰 賢宜	南が丘・南平台	川辺 義昭
万願寺1	諸星 信次	多摩平3	林 良健	南平2	川瀬 明廣
万願寺2	桑原 重興	旭が丘1	梅沢 茂行	南平3	八村 耕治
日野4	石橋 秀昭	旭が丘2	宮古 和則	新井・高幡	岩谷真三郎
日野本町	馬場 浩	豊田	馬場 邦久	落川・百草	岡村 和夫
新町	吉野 久忠	東豊田	村野 猛	三沢1	酒井 寿昭
栄町	大間知紀彦	東平山	酒井 隆二	三沢2	若山 恵之
神明	宮脇 茂	西平山1	倉澤 博	程久保	三宅 省三
大坂上	林 秀文	西平山2	上壁 隆雄	高幡台	小林 清
日野台1	廣澤 征一	平山1	岸 重雄	百草台1	菅原 嘉雄
日野台2	栗山 進	平山2	阿川 茂	百草台2	由井アキラ

(敬称略)

お疲れさまでした!

<退任された班長(敬称略、順不同)>

- ・大坂上班 小林 立之
- ・南平2班 伊藤 俊夫
- ・西平山2班 庄子 和憲

お願いします!

<新任班長(敬称略、順不同)>

- ・大坂上班 林 秀文
- ・南平2班 川瀬 明廣
- ・西平山2班 上壁 隆雄

4月8日(土)開催の会員交流会の第1弾「山菜摘みと花見&懇親会」は、あいにく雨のため午前中の山菜摘みと花見が中止となりました。しかし、午後の懇親会は実施しました。

懇親会には、北村会長、賀来理事(総務委員長)のほか、男性7名、女性3名(計12名)が参加され、情報交換では花見以上の盛り上がりで、和気藹藹3時間余を過ごしました。

酒・ビール・肴は各人参加者持

平成28年度事業計画の重点項目の一つ「大の輪の拡大」に呼応して、総務委員会が立ち上げたプロジェクトチームによる会員交流会が開始しました。以下は、その第1弾のレポートです。

事業計画に呼応 会員交流会

《第1弾開催》
山菜摘みと花見は
雨天中止

懇親会を実施



第1回会員交流会(岡村氏提供)

(総務委員会・岡村和夫)

ち寄りでしたが、大平会員(今回の幹事役)が、午前の小雨の中あけびの新芽(今回の山菜)を摘み取り、家で湯がき、肴の一品として持参され、参加者は新芽について語りつつ舌鼓を打ちました。

今後の会員交流会の計画は、次のとおりです。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

- ★6月16日(金) サントリービール工場で「乾杯」交流会
- ★7月29日(土) ブルーベリー摘み取り「美味」交流会

※詳細については、月刊さわやか「の折り込み」でご案内いたします。

5月のあいさつ運動 快晴に恵まれ 当SCC参加の中学校、全7校中6校に

小中学校朝のあいさつ運動が5月1日、実施されました。早朝から快晴に恵まれ、校門では元気の良い挨拶が交わされました。

参加通告は過去最多の70名

当SCCの参加者は事務局通告数で70名となり、最多記録を更新しました。特徴の一つは、小学校1校あたりの参加者が多い所で7〜8名に達し、4〜5名の所も数校あり、ほとんどが複数参加。



七生中で川瀬委員(右端)

もう一つの特徴は、中学校でこれまで3校で当SCCの参加者がいなかったが、今回2校で参加。参加校は全7校中6校に広がりました。地域委員会の呼びかけが功を奏しました。残る1校は大坂上中学校。小学校は昨年9月以来、全17校で参加しています。

次回は7月3日(月)です。参加される方は、6月15日までに各ブロックの地域委員会委員にお知らせください。

次回(7月3日)は、6月15日までに各ブロックの地域委員会委員にお知らせください。



第二中で高木委員(右端)

平成29年4月度 各委員会の活動

【総務委員会】

5日開催。①会員相互交流会 推進チームの取り組み(第1弾企画の実施)②8日、第2弾企画の公募③2会員アンケート完全版の作成④平成29年度事業計画の確認。

【事業委員会】

27日開催。①就業内容と応募状況、28年度事業実績②新規事業取り組み・進捗状況③サロン、買い物代行、孫育て広場検討④就業開拓推進チームの現況課題。

【業務委員会】

3月30日、4月13日開催。①就業案内と応募状況、2月実績報告②いきいき祭り実行委報告③職群班ガイドブック作成、会議報告④職場グループ交流会。

【地域委員会】

5日開催。①シルバークイーン祭り&リサイクルフェア準備②前期地域班会議テーマ③新任班長研修実施④5月あいさつ運動⑤小学校通学安全見守りを検討。

【女性委員会】

12、26日開催。①女性限定入会案内説明会を年3回開催に②

女性委員会だよりの発行を年3回に③陶器・ペンダント講習会準備④シルバークイーン祭り準備。

【安全管理委員会】

2日開催。①平成28年度全体の事故件数②28年度職場安全巡回後期分の報告③安全標語募集のテーマ決定④植木剪定就業に関する安全就業研修会の報告。

【広報委員会】

10日開催。①委嘱状の交付②月刊さわやか4月号の確認③月刊さわやか5月号紙面計画の策定④平成29年度の広報委員会活動のあり方で討議。

それってなに?

SCCの事業計画

各SCCの年間の事業計画のこと。当センターでは定款第38条で事業年度が、毎年4月1日から翌年3月31日までと定められ、第39条で毎事業年度の開始前に事業計画及び収支予算の作成とその理事会承認が義務づけられています。以前は、事業計画と予算は定期総会での決議事項でしたが、公益社団法人となった平成23年度以降は、理事会で決定し、定時総会では報告事項です。総会開催の2週間前までに配付される議案書に掲載されます。

全都SCで植木剪定の安全就業研修会 東京しごと財団主催 当センターから5名参加

4月4日、東京しごとセンターで開催された「植木剪定就業に関する安全就業研修会」(全都SC対象)に、当センターから増子事務局長、宮古安全管理委員長ら5名が参加しました。以下は、参加者の一人、高島安全管理委員(植木班員)の報告です。

この研修会は、昨年度起きた植木剪定就業での墜落事故の状況・課題・対策を示し、安全就業の取り組みを強化して再発防止を図ることを目的として行われました。講師は、SONPORリスクケアマネジメント(株)の労働安全コンサルタント・太田真治氏。

初めに事故状況について、全職群の発生頻度(平成22〜26)は百人当たり3件ですが、植木職群では15件と5倍。保険金支払額も1件当たり全職群25万円に対し植木職群は34万円。

次に、2件の墜落事故の事例が示されました。

①真竹剪定中に結束していない2連梯子がずれ3mから墜落。



植木剪定作業(資料写真から)

②柿の木の剪定後、塀と梯子に足を乗せようとして墜落。

この2件の共通の教訓は、基本的な安全措置の不足(三点支持・結束等)と疲労の蓄積でした。

この教訓を生かすため危険予知訓練(K・Y・K)の実際を、安全就業対策集(冊子)の危険予知シートを使い、討議しました。

『安全はすべてに優先する』これを肝に銘じて就業することが肝要と改めて実感しました。
(安全管理委員会・高島謙治)



ブルーのSCジャンパーを着用しましょう

色鮮やかなブルーのジャンパーを会員皆様にお勧めしています。背中には書家の筆によるレモンイエローのロゴが入っています。このジャンパーを着用し、日野市シルバー人材センターの会員としての誇りを持ち、質の高いサービスを提供していきましょう。

▽価格 11000円
▽サイズ S、M、L、XL
▽販売場所 事務局

安全標語の募集締切日を 6月15日に延期します

今年のテーマは

- ・転倒・墜落・転落事故防止
- ・自転車事故の防止

定年から9年を迎えて

宮原 廣

『月刊さわやか』に投稿をとの依頼があり、節目の10年を前に考えてみようと思うようになりました。就業と委員会活動でシルバー人材センターのお世話になっています。

月日が流れるのは早いもので、定年から9年が過ぎました。本業で働いている気分で過ごして来ましたが、しかしこの先どうしたらよいのか、どうしたいのか、ふと思うようになりました。俗に言う第二の人生のことだと思います。

私は第二の人生は無く全てが第一の人生だと思っています。ただ区切りをつけるとしたら人生70歳だと思えます。あと一年でその70歳になります。さて如何しましょうか。ちよつと止まって時間を考えてみようと思いません。

時間は止まっている時間と、進んでいる時間があると思います。進んでいる時間を、自分に合った使い方を一年かけて見つけてみようと思います。今は、シルバー人材センターの皆さんのお力をお借りして楽しく生活しています。生活の環境は人それぞれ違いますが、頑張り過ぎず身の丈にあった環境の中で、健康で、自立した生活が最良だと思います。(神明班)